

はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.28
2010.5



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

平成22年度「第1回歯舞地区マリンビジョン協議会」開催

平成22年度事業計画が決定しました

平成22年4月30日、平成22年度「第1回歯舞地区マリンビジョン協議会」が開催されました。

会議には構成団体の代表ら約40名が出席し、21年度の事業報告、22年度の実施事業計画案について協議、承認されました。その結果、表のとおり目標を定め、実現に向けて取り組んでいくことが決まりました。

今年は「歯舞市場食堂」の開設に向け、漁協食堂の一部を一般客や「遊覧観光船」乗船者に試験的に開放して、提供メニューや価格などについて調査を実施する予定です。



協議会の様子

◆ 平成22年度「歯舞地区マリンビジョン」の事業目標 ◆

(1) つくり育てる漁業環境の整備と人材育成		
① 水産教室開催事業	成果目標	地元の子供達の意識啓発
	目標値	地曳網の体験学習参加者：100名 (平成21年度実績：96名) 料理教室の参加者：80名(平成21年度実績：74名) サンマ燻製・秋鮭フレーク作りの参加者：40名 (平成21年度実績：32名)
② 長崎県・上五島町漁協との人事交流事業	成果目標	職員の人材育成(技術習得)
	目標値	鮮度保持技術の習得・水産加工品製造技術の習得
③ 地域リーダー育成事業	成果目標	リーダー育成事業への継続参加・人材育成
	目標値	2名参加(平成21年度までの派遣者数：8名参加)
(2) 漁業からの新たな取り組みによる観光振興		
① 「遊覧観光船運航」事業	成果目標	遊覧観光船乗船者数の増
	目標値	300名(平成21年11月～22年3月まで：266名)
② アサリ獲り体験事業	成果目標	アサリ獲り体験の来場者
	目標値	本年度は試験的な実施とし、150人程度の来場者を目指す。
③ 歯舞市場食堂による魚食体験推進事業	成果目標	歯舞市場食堂開設
	目標値	歯舞市場食堂開設に向けたニーズ調査(メニュー・価格等)
④ 「歯舞こんぶ祭り」事業	成果目標	地域単独イベント等の集客増
	目標値	参加者：2,500人 (平成21年度実績：1,000人 荒天のため) 売上額：2,000,000円 (平成21年度実績：1,083,760円)
⑤ 「最東端の桜」景観づくり事業	成果目標	日本一遅く咲く桜並木の植樹
	目標値	200本【平成26年度までの継続事業】
(3) 地域協働等の取り組みによる歯舞ブランドの確立		
① 安全・安心イメージ向上事業	成果目標	衛生管理体制の強化と啓発
	目標値	歯舞地区におけるゴミ処理量の約20%減
② 歯舞ブランド販売促進事業	成果目標	歯舞産ブランドの浸透
	目標値	イベント参加によるPR活動を4回以上実施 大通ふるさと市場での売上額：600,000円(3日間) 早稲田地球感謝祭での売上額：200,000円(1日間) 東急百貨店催事での売上額：1,500,000円(5日間) 東京新宿北方領土返還要求街頭啓発事業での売上額：250,000円(1日間)
③ 浜の母ちゃん事業	成果目標	魚食の普及活動の推進
	目標値	全国における料理教室の実施回数：5回

4年目を迎えた「日本一遅く咲く桜並木の整備」

歯舞地区マリビジョン協議会が2007年から取り組んでいる「日本一遅く咲く桜並木の整備」は、今年で4回目を迎えました。

5月11日には歯舞漁協事務所の山側に12本、翌12日には納沙布岬「望郷の岬公園」に11本の千島桜を植樹し、昨年までの77本と合わせてこれまで植樹した千島桜の合計は100本に達しました。

12日の納沙布岬の植樹は、あいにくの小雨の中行われましたが、漁業者や漁協女性部、大地みらい信用金庫職員など30人が参加しました。

桜の苗木は例年同様市民の森で大切に育てられたものと、成木は地元住民の方からの寄贈によるものです。桜の開花は根室市街より約1カ月遅い6月上旬ころになりそうです。

「北方領土が一望できる納沙布岬に、領土返還のシンボル木である千島桜を植えて日本で一番遅い花見の名所にしたい」との思いからこの取り組みが始まりました。来年以降も植樹を続け、日本最東端の桜が見事に咲き誇る姿をたくさんの人に見てもらいたいと願っています。



漁協事務所での植樹



納沙布岬での植樹

「わが村は美しくー北海道」運動 第5回コンクールの現地調査開催

現地調査の様子



「わが村は美しくー北海道」運動は、道内各地の農山漁村において住民が主体となって地域の魅力と活力を高めようとする活動を北海道開発局が支援するもので、運動の一環として隔年でコンクールが開催されています。

前回の第4回コンクールでは、歯舞地区マリビジョン協議会は「一本立ち歯舞さんま」や「はぼまい昆布しょうゆ」など歯舞ブランドの確立、そして「千島桜の植樹」や「遊覧観光船運航」といった地域活性化の取り組みが高く評価され、「地域特産物部門」で金賞を受賞しました。今回の第5回コンクールにも歯舞地区マリビジョン協議会は応募し、5月18日、調査員5名による現地調査が行われました。今後も審査が続けられ、来年1月には受賞地域が決定します。

第5回コンクールには全道104市町村から271件(202団体)と過去最多の応募がありました。応募総数のうち131団体が新規の応募で、各市町村からの注目が年々高まっているようです。

第5回コンクールの今後の流れ

第1回表彰審査委員会	表彰審査委員会による 現地調査団体の選考
現地調査	H22.7月~9月 表彰審査委員会による現地調査
第2回表彰審査委員会	表彰団体の選考
表彰式	H23.1月予定

編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

